

令和6年度 生涯学習部研修会報告（東濃地域）

【日時】 令和7年2月8日（土） 時間：9:00～12:10

【形式】 対面研修会

【講義内容】

1部：9:00～10:30 テーマ：「身体活動と心身の健康」

講師：河合 克尚 氏（平成医療短期大学 リハビリテーション学科 理学療法専攻）

2部：10:40～12:10 テーマ：「糖尿病へのチーム医療の関りについて」

講師：北村 柁騎 氏（JA 岐阜厚生連 東濃厚生病院 内科）

樋口 晃久 氏（JA 岐阜厚生連 東濃厚生病院 リハビリテーション科）

片桐 さくら 氏（JA 岐阜厚生連 東濃厚生病院 栄養科）

【スケジュール】

9:00～ アナウンスと講師紹介

9:05～10:35 身体活動と心身の健康

10:40～12:10 糖尿病へのチーム医療の関りについて

【内容】

感染拡大防止により、昨年まで完全オンラインでの研修会でしたが今回から直接講師の先生から講義や質疑を通してより参加者の理解度を深めたく対面にて行いました。実際の参加者は少なく参加者数に関しては残念な状況になりました。オンラインでの学習体制が身に付き今後の対面での講義方法やアナウンス方法についての課題がたくさんあると感じております。

一つ目の講義内容に関して、「身体活動と心身の健康」というテーマで、平成医療短期大学リハビリテーション学科理学療法専攻 河合克尚先生をお招きしてご講演頂きました。

運動との関連性、特に神経伝達物質のセロトニン、エンドルフィンとの関連性、リズム運動、大きい筋肉活動での活性化などは臨床にも応用できる点もあり、とても興味深く拝見いたしました。またナッジに関する講義内容も参加者からの質問も多く、後日の感想でも多く興味を持ったとの意見も頂きました。本当にたくさんのスライドと最近の研究結果などから、非常に分かりやすくまとめた講義をしてくださいました。

二つ目の講義内容に関して、「糖尿病へのチーム医療の関りについて」というテーマで東濃厚生病院にて北村柁騎医師、樋口晃久理学療法士、片桐さくら栄養士にて糖尿病への関りについて多職種での視点の違いや対応方法にてご講義頂きました。チームの活動報告も含め、まずは糖尿病に対する偏見も持たないこと、生活習慣病というひとくくりの対応の考えはないとのこと。またステイグマの考えも学び、医療従事者としての糖尿病患者さんへの向き合い方、また話し方なども学ぶことができ、早朝血糖の基準や薬剤の種類だけでなく、そういった患者さんとの関り方も学ぶと事でき、大変有意義な時間になったと思っています。

臨床を主に行ってみえる中、研究、講義活動など行ってみえる先生方には大変感銘を受け、大変有意義な3時間になったと感じています。参加者少ない結果となりましたが講演後、受講者から質問を多く頂き満足度が高い、非常に充実した研修会になったと思っています。

最後に、貴重な時間を割いてご講演頂きました河合克尚先生、北村柁騎先生、樋口晃久先生、片桐さくら先生をはじめ、賛助会員の皆様、本研修会に携わっていただいた生涯学習部スタッフの皆様にご心より御礼申し上げます。

文責：東濃地域生涯学習部 加藤 祐亮